

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
6	2	1	観光費	200

部局名	経済環境部
課 名	観光課

I：事業概要

施策事業名	観光振興事務					
事業目的	観光に関する各種情報をわかりやすく整備し、犬山への誘客増を図るとともに来訪後の利便性と満足度を高める。					
事業内容	●主な事業内容 ・犬山市の観光情報ホームページについて、旬な情報提供を心がけ、見やすさ、わかりやすさに配慮しながら管理する。 ・公共駐車場の空き状況や犬山城の待ち時間表示等、観光客に必要な情報をリアルタイムで正確に提供する。 ・各種イベントなどにポスター等の広告物を提供し、観光振興を図る。 ・SDGs観光まちづくりに関する情報を発信し、観光客へのマナー啓発を図る。 ●主な予算の内訳 ・犬山市観光情報ホームページ管理業務委託料 702千円 ・消耗品 61千円					
事業の目標	●事業の目標 ・適宜、正確な観光情報を継続して提供することにより、観光客の利便性と満足度を向上させる。					

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
観光振興事務	817	0	0	0	817	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	817	0	0	0	817	100%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
6	2	1	観光費	200

部局名	経済環境部
課 名	観光課

I：事業概要

施策事業名	観光協会運営補助
事業目的	観光振興に必要な知見を有する犬山市観光協会に対して運営費補助を実施することで、近傍から広域にかけての観光宣伝や海外を含むメディアセールスを行い国内誘客やインバウンド需要の取込みを推進する。また観光協会が地域において観光を通じたまちづくりの中心的役割を果たすことで、持続可能な観光まちづくりを継続・発展させる。
事業内容	●主な事業内容 ○犬山の観光推進に関する体制の確立 - 市とともに観光振興を協働して担う観光協会の人件費の一部を補助することで事務局体制を維持・強化し、新たな観光戦略への挑戦、近傍～広域圏の観光誘客、招聘等、観光を通じたまちづくり等、法人ならではのスピード感と機動力を活かした観光推進を実現する。 ●主な予算の内訳 - 犬山市観光協会運営補助金 31,398千円
事業の目標	●事業の目標 観光振興の核となる観光協会は令和6年度末で職員（事務局長）が定年となるなど、新たな体制構築が必要である。補助により組織を安定し強化を図ることで、犬山ブランドの構築、観光客の増加、観光を切り口とした地域経済発展及びまちづくりを、行政と一体となり推進する。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
観光協会運営費補助	31,398	0	0	0	31,398	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	31,398	0	0	0	31,398	100%

令和 7 年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)	部局名	経済環境部
款	項	目			課 名	観光課
6	2	1	観光費	200		

I：事業概要

施策事業名	観光客誘致
事業目的	(一社) 犬山市観光協会と連携したキャンペーン等の宣伝活動の実施、各種協議会との協働による広域での観光PR活動等を通じて犬山観光の価値と魅力を高めるとともに、ブランドイメージを向上させ、全国から犬山への観光誘客を図る。特に首都圏・関西圏やお城イベントでの認知度向上と誘客を進める。
事業内容	●主な事業内容 ○年間を通じた犬山観光誘客宣伝活動の実施 ・名古屋鉄道(株)、(一社)犬山市観光協会と連携し、年間(上期・下期)を通じた観光誘客宣伝活動を実施。 ○まつり・催事の実施 ・犬山祭保存会等と連携し犬山祭を開催、秋には犬山祭宣伝事業としてからくりまち巡りを実施。夏には各務原市なども加入する実行委員会により日本ライン夏まつりロングラン花火を実施。 ○キャラバン等による観光宣伝の実施 ・名古屋、首都・関西圏で集中キャラバン、鉄道駅を活用した観光宣伝、近傍地での誘客活動、お城に関するイベントでの認知度を向上させる取組みを実施。 ○地域連携、広域連携による観光宣伝の実施 ・県、各種協議会、他市町との連携による観光宣伝、集客イベントを実施。 ○国内、国外の観光客受入に関する体制構築とおもてなし事業の実施 ・城下町中心に警備体制を整え、住民の安全確保と周辺道路の混雑緩和、円滑な観光客誘導を図る。 ・持続可能な観光地づくりを目指し、関係者間による意見交換、事業者交流会、城下町地区での環境美化活動や来訪者へのマナー啓発等を実施。 ○観光コンテンツの造成 ・(一社)犬山市観光協会と連携し、シェアエコの仕組みも活かし体験コンテンツ造成を進める。 ●主な予算の内訳 ・犬山城下町交通誘導警備委託料 33,193千円 ・観光コンテンツ造成推進事業委託料 1,754千円 ・各協議会等負担金 60,131千円(国宝城郭、犬山観光プロモ、犬山祭等) ・各団体補助金 350千円(桃太郎あゆまつり催事)
事業の目標	●事業の目標 ・知名度・認知度を高めるための宣伝活動を実施し観光地としての価値と魅力を高める。 ・国内は近傍地含む全域、海外は主としてアジア圏(台湾・タイ等)からの誘客を推進。 ・魅力的な観光コンテンツ造成を推進し、滞在時間を伸ばして宿泊や消費額を増やす。 ・持続可能な観光まちづくりを推進し、来訪客と地域住民との共存調和、観光地としての分散化・平準化を目指す。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
観光客誘致	96,420	0	0	51,894	44,526	46%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	96,420	0	0	51,894	44,526	46%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
6	2	1	観光費	200

部局名	経済環境部
課 名	観光課

I：事業概要

施策事業名	観光案内所運営
事業目的	観光案内所の適正な管理運営と案内機能を充実させることにより、観光客へのおもてなしと満足度を高める。
事業内容	●主な事業内容 ・犬山駅及び犬山城前の2カ所の観光案内所を通年で開設。来訪者に対して正確で丁寧な観光案内を実現する。 ・運営は観光振興に関する知見とノウハウを豊富に有する（一社）犬山市観光協会に対し委託業務として発注。 国内外からのお客様に対し接遇の精神を持ち、かつ適切に対応し安定的な管理体制を実現する。 ●主な予算の内訳 ・犬山観光案内所運営委託料 22,232千円（犬山駅、城前）
事業の目標	●事業の目標 ・2カ所ある観光案内所を安定的に運営する。 ・正確で丁寧な観光案内体制を構築し継続する。 ・国内の観光客だけでなく、外国人観光客にも柔軟に対応する。 ・適切な観光案内を行い、来訪者の満足度を高める。

II：個別事業内訳 (単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
観光案内所運営	22,418	0	0	22,418	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	22,418	0	0	22,418	0	0%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)	部局名	経済環境部
款	項	目			課 名	観光課
6	2	1	観光費	200		

I：事業概要

施策事業名	観光施設管理					
事業目的	観光施設や観光トイレ等の維持管理を適切に行うことで、受入環境の向上を図るとともに、観光地としての良好なイメージを高め、来訪者の満足度を向上させる。					
事業内容	●主な事業内容 ○観光トイレの定期的な清掃及び維持補修及び管理 ・観光トイレ等を通年で清掃や維持管理を行うことで、清潔さを保ち、観光客の利便性を高める。 ・破損等が生じたトイレの維持補修を行う。 ○観光施設の除草剪定等の実施 ・観光施設の除草剪定作業を定期的 to 実施し、施設の適切な維持管理を行う。 ○案内看板の適正な維持管理 ・老朽化した各種看板等を修繕し来訪者の安全と利便性を高める。 ○八皆もみの木キャンプ場避難小屋撤去 ・閉鎖により不要となった避難小屋の撤去を行う。 ●主の予算の内訳 ・公衆便所・観光施設等修繕料 2,583千円 ・観光施設除草選定業務委託料 4,245千円 ・観光施設の巡回清掃及び公衆便所の清掃管理業務委託料 10,811千円 ・八皆もみの木キャンプ場避難小屋撤去 940千円					
事業の目標	●事業の目標 ・観光施設の清掃・除草・剪定・修繕等の維持管理を常時適正に行うことで、観光施設としての機能保全と、来訪者が安全で快適に使用できる状態を維持継続する。					

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
観光施設管理	24,856	0	0	24,856	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	24,856	0	0	24,856	0	0%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
6	2	1	観光費	202

部局名	経済環境部
課 名	観光課

I：事業概要

施策事業名	観光事業振興基金積立金
事業目的	将来の観光振興に係る経費の一部を積立し、一時的に多額の費用が必要となる事業が発生した場合に活用する。
事業内容	●主な事業内容 ○観光事業振興基金への積立 ・犬山温泉に係る入湯税の一部を基金の財源として積み立てる。 ○観光事業振興基金の取り崩し ・観光振興に一時的に大きな費用が生じる場合において、基金の一部を取り崩して活用する。 ※入湯税が確定した後に補正予算対応する。
事業の目標	●事業の目標 ・観光事業振興基金を安全かつ安定的に運用することで、一時的に多額の費用を要する事業や時代のニーズに沿った施策や施設整備等に対して活用し、さらなる観光振興を図る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
観光事業振興基金積立金	1	0	0	1	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	1	0	0	1	0	0%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
6	2	1	観光費	202

部局名	経済環境部
課 名	観光課

I：事業概要

施策事業名	木曽川うかい事業費特別会計繰出金
事業目的	「木曽川うかい」を犬山の伝統文化として、保存伝承すると共に、犬山の観光資源として活用する。
事業内容	●主な事業内容 ○木曽川うかいに係る観光宣伝 ・各務原市との協力体制を強化し、木曽川観光(株)とも連携し、各地での宣伝活動を実施する。 ・鵜飼実演の更なる高質化を図り、ブランド力向上と歳入増を目指す。 ○若あゆ丸高質化後の宣伝及び利活用の検討及び企画実施 ・木曽川観光(株)や(一社)犬山市観光協会と連携し、高質化後の利活用を促すよう宣伝を行う。 ○鵜の飼育管理 ・鳥インフルエンザ対策など鵜の健全な管理を強化する。 ○鵜匠の育成(男性3名の正規職員、女性1名の観光協会職員) ・犬山の伝統漁法、木曽川の観光資源として継続していくため、次世代の新規採用、運営の在り方や体制について継続して検討・協議を進める。 ○船頭の育成 ・伝統漁法の保存継承に欠かせない船頭に関し、次代を担う人材を継続して育成する。 ○船会社の安定運営に関する助言・協力 ・木曽川うかい事業に不可欠な船会社(木曽川観光(株))の安定的な運営体制構築のため必要な助言・提言を行う。 ●主な予算の内訳 ・木曽川うかい事業費特別会計繰出金 63,563千円 (人件費 29,391千円、事業費 34,172千円)
事業の目標	●事業の目標 ・鵜飼を安定して実施するとともに、鵜匠の後継者検討や鵜舟の船頭育成も継続して取り組み、1300年の伝統漁法である木曽川うかいの保存継承及び活性化を図る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
木曽川うかい事業費特別会計繰出金	63,563	0	0	63,563	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	63,563	0	0	63,563	0	0%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)	部局名	経済環境部
款	項	目			課 名	観光課
6	2	1	観光費	202		

I：事業概要

施策事業名	観光駐車場管理					
事業目的	キャッスルパーキングと内田観光駐車場を一体的に管理運営することで、城下町エリアに訪れる観光車両を効率的に受け入れるとともに、利用料による自主財源の確保を図る。					
事業内容	●主な事業内容 ○キャッスルパーキングと内田観光駐車場の一体的な管理運営。 ・キャッスルパーキング及び内田観光駐車場を効率的に運営する。 ・キャッスルパーキング満車時には内田観光駐車場へ誘導し混雑緩和を図るなど適切に管理する。 ・混雑時には内田多目的広場を利活用し利用料を得て自主財源確保に努める。 ・繁忙期を特定日として設定し異なる使用料設定することで、混雑緩和の検証と財源確保を図る。 ●主な予算の内訳 ・修繕料510千円 ・観光駐車場管理業務委託料30,492千円					
事業の目標	●事業の目的 ・観光駐車場を適切に管理運営することで、交通渋滞や混雑を緩和し、観光客の円滑な誘導とストレスの軽減、満足度の向上を図るとともに、地域住民の生活への影響軽減に努める。 ・駐車場使用料の見直し実施により、自主財源の確保と混雑緩和を図り効果を検証する。					

II：個別事業内訳 (単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
観光駐車場管理	33,350	0	0	33,350	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	33,350	0	0	33,350	0	0%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)	部局名	経済環境部
款	項	目			課名	観光課
6	2	1	観光費	202		

I：事業概要

施策事業名	観光戦略
事業目的	令和3年度策定の犬山市観光戦略に記載の「目指す姿」実現のため、8つの重点プロジェクトを中心に各施策を実施する。また犬山観光を取り巻く環境の変化に対応するとともに、新しい時代様式に合った持続発展する観光地となるよう、戦略的な観光施策を進める。附属機関である観光戦略会議を年1回開催し進捗把握と管理を行う。
事業内容	●全体計画（経緯） - 令和元年度：観光に係る調査・分析、観光まちづくり会議開催 - 令和2年度：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により会議開催が困難となったため、コロナによる影響や将来の観光動向などを研究。 - 令和3年度：「犬山市観光戦略」策定、観光まちづくり会議開催 - 令和4年度：犬山市観光戦略重点事業の実施。庁内調整会議開催、推進体制会議開催、観光まちづくり会議の開催（本町通り対話の場設定）。定点観測のための消費動向アンケートを名古屋経済大学と共同で実施。 - 令和5年度：観光戦略における計画の進捗確認（観光戦略会議の開催：8月） - 令和6年度：観光戦略における計画の進捗確認（観光戦略会議の開催：8月） - 令和7年度：観光戦略における計画の進捗確認 ●主な事業内容 ○観光戦略の推進 - 重点事業の検討及び実施、各種調整及びマッチングの取組みを推進 - 観光戦略の進捗状況を把握、確認、検証するため犬山市観光戦略会議を定期開催する。 ○観光まちづくり会議の開催 - 観光を切り口とした課題解決に向けた会議の継続開催（SDGs観光まちづくり会議の開催）。 ●主な予算の内訳 - 観光戦略会議委員報酬・費用弁償 180千円
事業の目標	●事業の目標 観光戦略に計上した各施策を一つずつ取組み、実現することで観光の産業としての成長、「犬山観光」としてのブランド力向上、観光を切り口とした地域課題解決を目指す。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
観光戦略	180	0	0	0	180	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	180	0	0	0	180	100%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
6	2	1	観光費	202

部局名	経済環境部
課 名	観光課

I：事業概要

施策事業名	木曽川河川空間活性化				
事業目的	木曽川河畔の栗栖地区及び内田地区のそれぞれにおいて整備等の取組みを進め、木曽川河川空間の価値と質を高めることにより、市民及び観光客が楽しむことができる、賑わいと憩いの場を形成する。また、整備等により新たな価値と利益を生み出すことを目的とする。				
事業内容	●事業の全体計画 - 河川空間活性化のために必要な検討と事業の実施を進める。年度ごとの取組みを経て、新たな価値と質の高まりを目指す。 ●主な事業内容 ○木曽川河畔遊歩道整備に向けた取組みの推進（木曽川河畔活性化事業実施支援業務関連） - かわまちづくり計画作成、地域住民等との意見交換・実証事業、整備方針の検討 ○栗栖園地南側の整備 - 木曽川河川敷内、栗栖園地南側の土地造成（整地）と芝生貼り。 ●主な予算の内訳 - 木曽川河畔活性化事業実施支援業務委託料 4,422千円 - 会場照明借上料・仮設電源工事（宵のいぬやマルシェ） 464千円 - 栗栖園地整備工事請負費 2,500千円				
事業の目標	●事業の目標 木曽川河川空間全体における利活用の検討・実施を進めることで価値と質を高め、美しい景観及び賑わいと憩いのある良好な河川空間形成を実現する。				

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
木曽川河川空間活性化	7,886	3,840	0	0	4,046	51%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	7,886	3,840	0	0	4,046	51%

令和7年度 予算説明書

特別会計名	予算書(P)
木曽川うかい事業費特別会計	400

部局名	経済環境部
課 名	観光課

I：事業概要

施策事業名	一般管理						
事業目的	「木曽川うかい」を犬山の伝統文化として、保存伝承すると共に、犬山の観光資源として活用する。						
事業内容	●主な事業内容 ○木曽川うかいに係る観光宣伝 ・各務原市との協力体制を強化し、木曽川観光(株)とも連携し、各地での宣伝活動を実施する。 ・鵜飼実演の更なる高質化を図り、ブランド力向上と歳入増を目指す。 ○若あゆ丸高質化後の宣伝及び利活用の検討及び企画実施 ・木曽川観光(株)や(一社)犬山市観光協会と連携し、高質化後の利活用を促すよう宣伝を行う。 ○鵜の飼育管理 ・鳥インフルエンザ対策など鵜の健全な管理を強化する。 ○鵜匠の育成(男性3名の正規職員、女性1名の観光協会職員) ・犬山の伝統漁法、木曽川の観光資源として継続していくため、次世代の新規採用、運営の在り方や体制について継続して検討・協議を進める。 ○船頭の育成 ・伝統漁法の保存継承に欠かせない船頭に関し、次代を担う人材を継続して育成する。 ○船会社の安定運営に関する助言・協力 ・木曽川うかい事業に不可欠な船会社(木曽川観光(株))の安定的な運営体制構築のため必要な助言・提言を行う。 ●主な予算の内訳 <table> <tr> <td>・飼料費</td><td>4,188千円</td></tr> <tr> <td>・鵜飼保存・活性化事業委託料</td><td>11,235千円</td></tr> <tr> <td>・鵜舟・屋形船出船業務委託料</td><td>13,166千円</td></tr> </table>	・飼料費	4,188千円	・鵜飼保存・活性化事業委託料	11,235千円	・鵜舟・屋形船出船業務委託料	13,166千円
・飼料費	4,188千円						
・鵜飼保存・活性化事業委託料	11,235千円						
・鵜舟・屋形船出船業務委託料	13,166千円						
事業の目標	●事業の目標 ・鵜飼を安定して実施するとともに、鵜匠の後継者検討や鵜舟の船頭育成も継続して取り組み、1300年の伝統漁法である木曽川うかいの保存継承及び活性化を図る。						

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
一般管理	36,266	0	0	36,266	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	36,266	0	0	36,266	0	0%